PEM+CDDP

MPM

2021年6月作成
DC-001164

ペメトレキセド+シスプラチン併用療法を受けられる患者さんとご家族の方へ

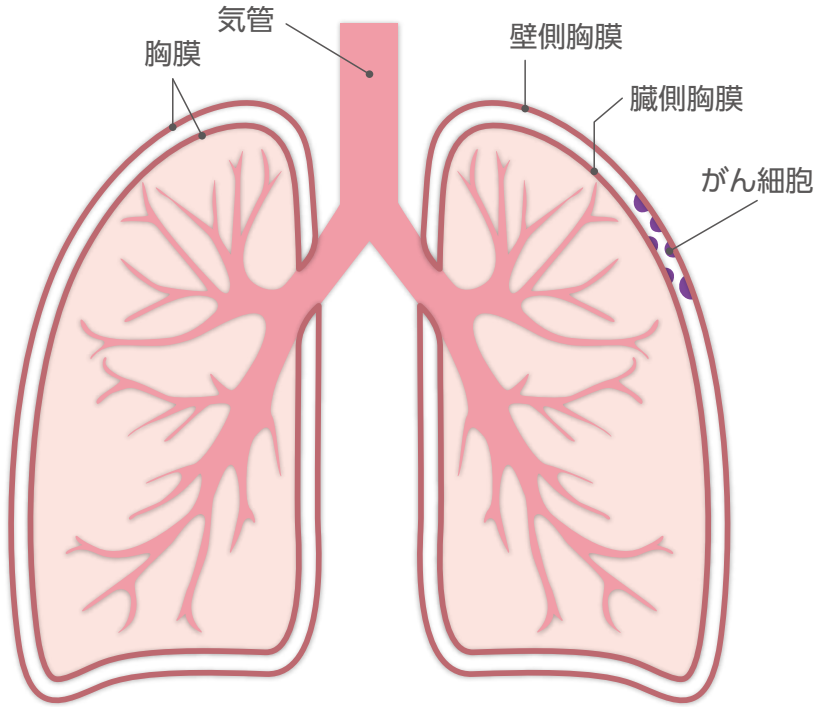
悪性胸膜中皮腫（MPM）

悪性胸膜中皮腫について・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
悪性胸膜中皮腫の治療・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
悪性胸膜中皮腫の外科治療（手術）・・・・・・・・・・ 5
悪性胸膜中皮腫の外科治療（手術）の種類・・・・・・・ 6
悪性胸膜中皮腫の化学療法・・・・・・・・・・・・・・・ 8
ペメトレキセドはどのような薬？・・・・・・・・・・ 10
ペメトレキセド点滴日のスケジュール・・・・・・・・ 12
葉酸、ビタミンB_{12}は治療に必要不可欠・・・・・・・ 14
治療全体のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・ 16
ペメトレキセドの治療を受ける前のチェック事項・・ 18
点滴中の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
副作用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
治療日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

悪性胸膜中皮腫について

肺の表面は、「胸膜」と呼ばれる2層の膜で覆われていて、内側を臓側胸膜、外側を壁側胸膜といいます。
悪性胸膜中皮腫とは、主として壁側胸膜の表面に存在する「中皮細胞」と呼ばれる細胞が、がん化したものです。
悪性胸膜中皮腫の原因の多くは、アスベスト（石綿）の吸入であることが分かっています。

悪性胸膜中皮腫の発生場所



悪性胸膜中皮腫の治療

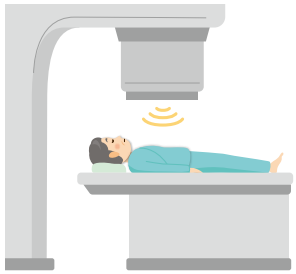
悪性胸膜中皮腫の治療には下記の種類があり、がんの進行度や患者さんの状態などを検討して、適切な治療が選択されます。
また、単独の治療法だけではなく、より良い治療結果が得られるように、これらの治療法を組み合わせて用いる「集学的治療」がおこなわれることもあります。

外科治療（手術）

手術によって、がんを全て切除して取り除く治療法です。詳しくは5～7ページをご覧ください。

放射線治療

放射線を照射することで、がんを死滅させる治療です。集学的治療の一環として行ったり、がんによる痛みを軽減する目的で行ったりします。



化学療法

がんを死滅させたり、増殖を抑えたりする働きのある「抗がん剤」を使う治療です。詳しくは8～9ページをご覧ください。

悪性胸膜中皮腫の外科治療（手術）

外科治療は、手術によってがんを取り除く治療法です。手術前の検査で、全てのがんを切除して取り除くことができると考えられる場合に、この治療が検討されます。最終的には、下記のようなことを総合的に考えて外科治療を行うか検討します。

外科治療を選択する際に検討されること

①すべてのがんを切除して取り除けると考えられる

悪性胸膜中皮腫で胸膜を超えて隣の臓器に浸潤している場合や、ほかの臓器に転移している場合などでは、手術ですべてのがんを取り除けないので手術を行えません。

②手術に耐えられる体の状態である

悪性胸膜中皮腫の手術は大きな手術になるため、手術に耐えられる体の状態（心臓や肺の機能など）があることが必要です。

③手術により、良い治療結果が得られると考えられる

がんの組織が「上皮型」と呼ばれるタイプでは、手術により良い治療結果が得られやすいですが、「肉腫型」、「二相型」と呼ばれるタイプでは手術を行っても良い結果が得られない可能性があるため、手術を行うかよく検討する必要があります。

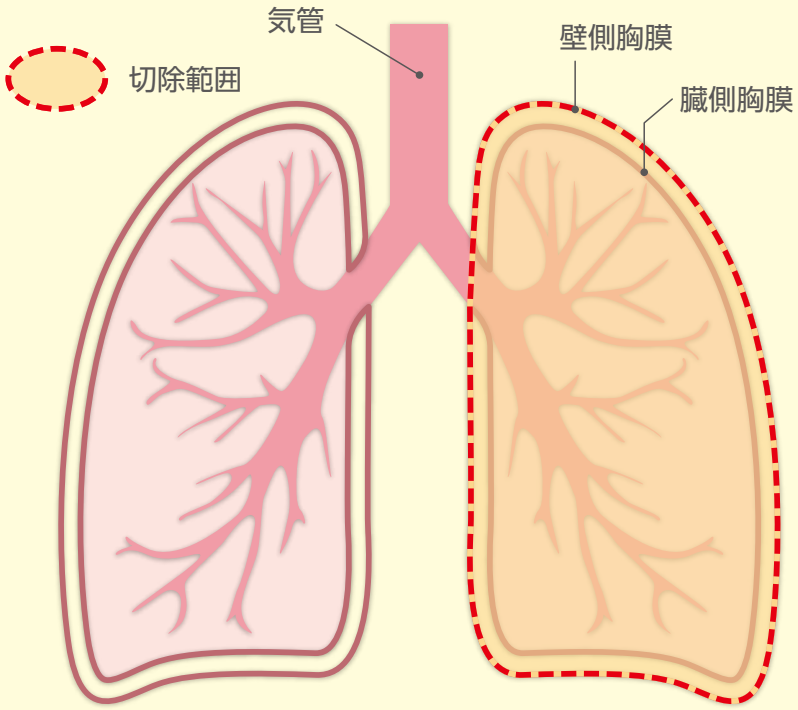
悪性胸膜中皮腫の外科治療（手術）の種類

悪性胸膜中皮腫の手術の方法（術式）には、胸膜肺全摘術（EPP）と胸膜切除/肺剥皮術（P/D）の2つがあります。この2つの術式の大きな違いは、肺を切除するかしないかになります。

どちらの術式で行うかは、患者さんの状態などを考慮して決定されます。

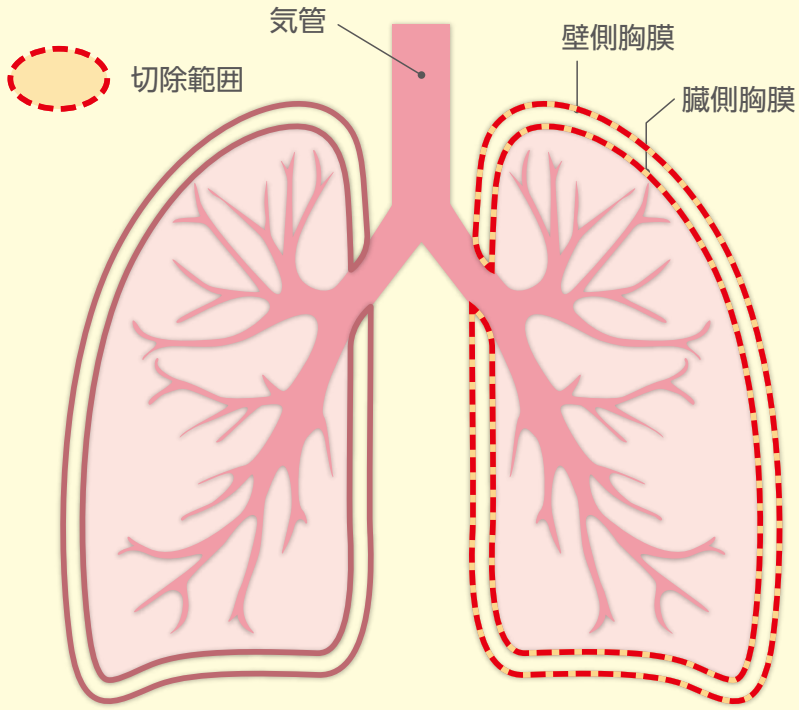
胸膜肺全摘術（EPP）

がんが存在する片側の胸膜（壁側胸膜と臓側胸膜）と肺を取り除く手術です。



胸膜切除/肺剥皮術（P/D）

がんが存在する片側の胸膜（壁側胸膜と臓側胸膜）を取り除く手術です。肺を摘出しないため、胸膜全摘術に比べて合併症のリスクが低いことや、術後の心臓・肺機能の低下が少ないことなどのメリットがあります。

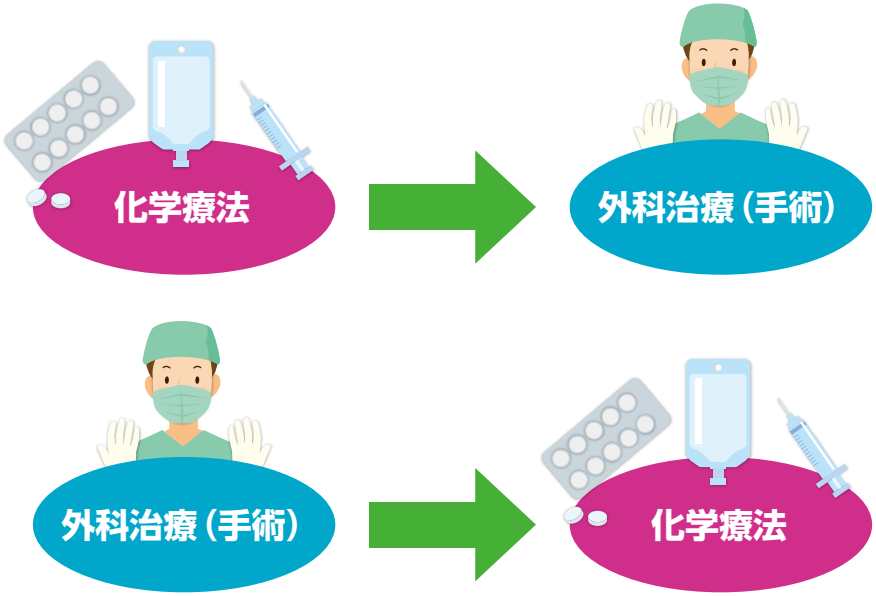


悪性胸膜中皮腫の化学療法

化学療法は、抗がん剤（抗悪性腫瘍薬）を使用して、がん細胞を死滅させたり、がんの進行やがんの症状を抑える治療法です。抗がん剤は、血液によって全身に行き渡るため、手術や放射線では治療できない場合などでも、がん細胞を攻撃することができます。
「集学的治療」の一環として、手術の前や後におこなわれる場合もあります。

①集学的治療の一環として、手術前または後に行う

4ページでも説明しましたように、悪性胸膜中皮腫の治療結果をより良くするために、手術に加えて放射線治療や化学療法を行うことを「集学的治療」と呼びます。
手術の前や後の化学療法は、この集学的治療の一環として行います。



②がんの進行やがんによる症状を抑える目的で行う

手術できない場合などでは、がんの進行やがんによる症状を抑える目的で行います。

ご自身の化学療法が、どのような目的で行われるか、主治医に確認することが大切です。

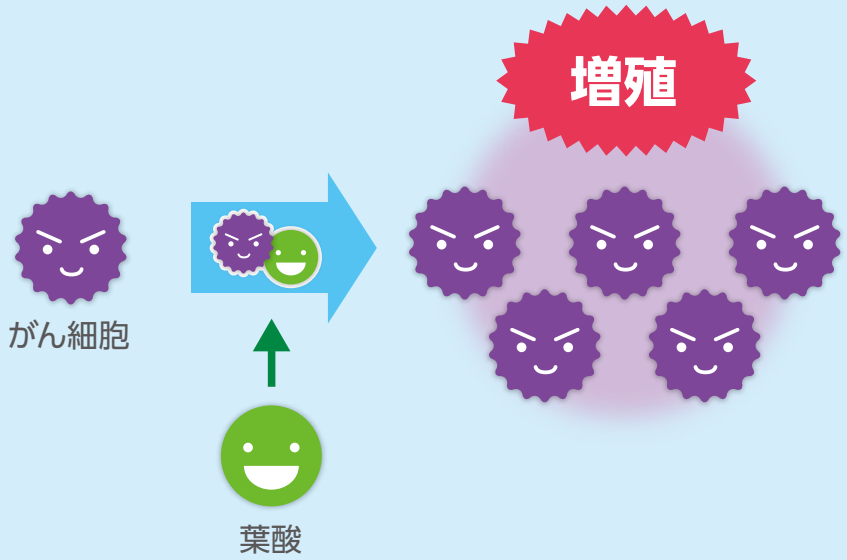
ペメトレキセドはどのような薬？

ペメトレキセドは、「細胞障害性抗がん剤」の１つです。細胞障害性抗がん剤は、薬の働きによりさらにいくつかの種類に分類され、ペメトレキセドは「葉酸代謝拮抗薬」に分類されます。

がん細胞を含むすべての細胞には、細胞が作られ・生命を維持するために必要な情報が刻まれている「DNA」があります。がん細胞は、増殖する際に新しくDNAを合成し、その際にビタミンの１種「葉酸」が必要となります。

がん細胞は、増殖する際に葉酸を必要とする

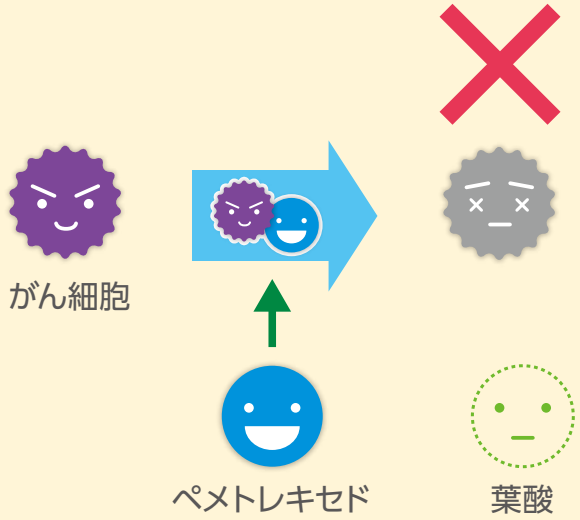
悪性胸膜中皮腫のがん細胞は、「葉酸」を取り込むことでDNAを合成して増殖します。



ペメトレキセドは葉酸に似た薬で、がん細胞は葉酸と間違ってペメトレキセドを取り込みます。ペメトレキセドを取り込んだがん細胞は、DNAを合成できなくなり、増殖せずに死滅します。

ペメトレキセドを投与すると、がん細胞は、葉酸と間違ってペメトレキセドを取り込む

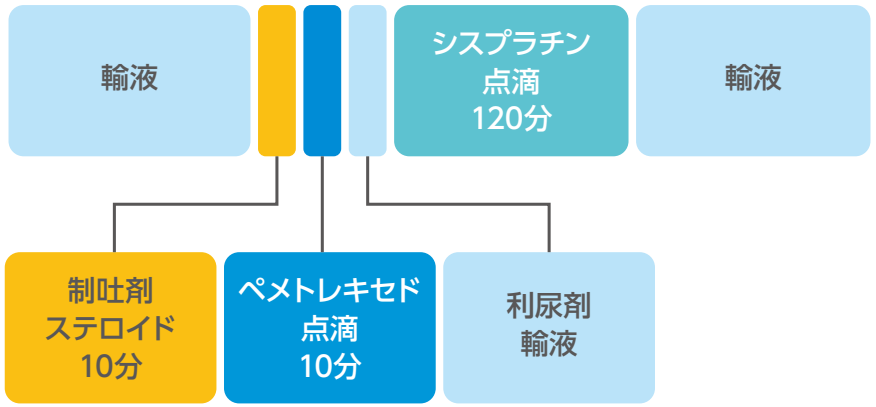
がん細胞は葉酸に似たペメトレキセドを間違って取り込みます。すると、がん細胞はDNAを合成できなくなり、増殖せずに死滅します。



ペメトレキセド点滴日のスケジュール

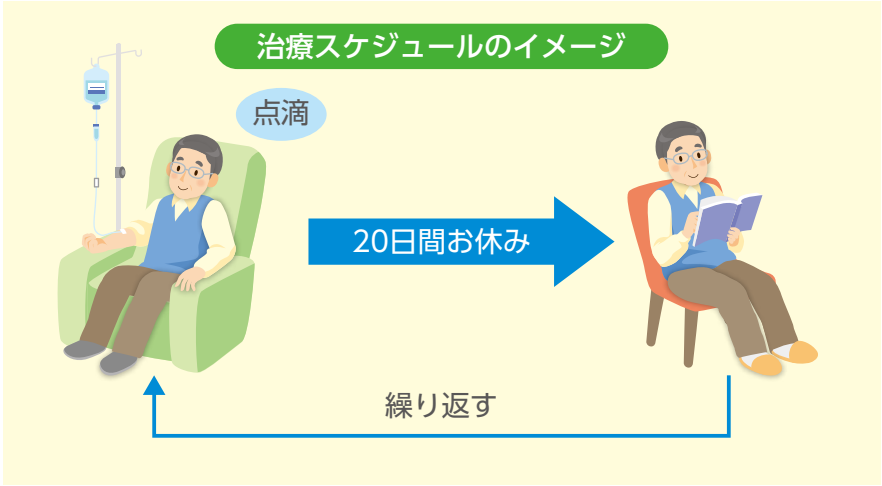
ペメトレキセドは、点滴で10分間かけて投与する抗がん剤です。
シスプラチンは、2時間（以上）かけて点滴します。
この他に、シスプラチンの副作用「腎障害」を予防するために、薬の投与前後に点滴で輸液をおこないます。
患者さんや治療施設の状況によっては全体の点滴時間が変わりますので、詳しくは医療スタッフにおたずねください。

点滴スケジュール例



点滴は3週間ごとに繰り返します。

ペメトレキセドの点滴を受けた後は、少なくとも20日間は点滴をせずにお休みします（休薬期間）。
点滴日と休薬期間20日間を合わせた21日間（3週間）を1コースとして、治療を繰り返します。なお、患者さんの状態によっては、休薬期間を延長することがあります。



16ページに、詳しい治療スケジュールを掲載しています。

葉酸、ビタミンB12は治療に必要不可欠

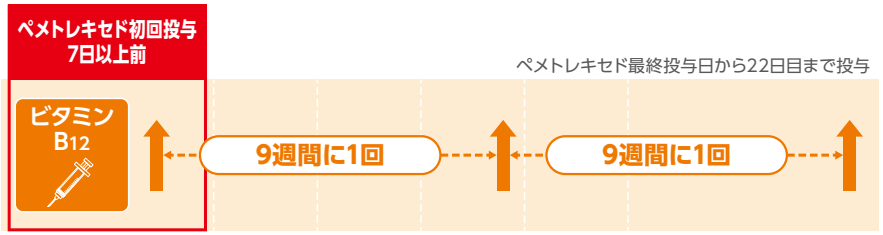
ペメトレキセドの治療では、葉酸とビタミンB12を補給することで副作用を軽減できることが分かっています。
そのため、ペメトレキセドの治療には、葉酸とビタミンB12は必要不可欠です。
がん細胞のDNA合成にも葉酸とビタミンB12を必要としていますが、正常細胞とがん細胞では必要な量が大きく異なっていますので、これらを補充しても抗がん効果には影響を与えずに正常な細胞を守ることができます。
医療スタッフの指示通りに注射を受けたり、服用したりするようにしてください。

葉酸の服用方法

ペメトレキセドの最初の点滴日の7日以上前から、葉酸を1日1回毎日服用します。
ペメトレキセドの治療を終了した場合は、最後の点滴日から22日目まで可能な限り葉酸を服用します。

ビタミンB12の投与間隔

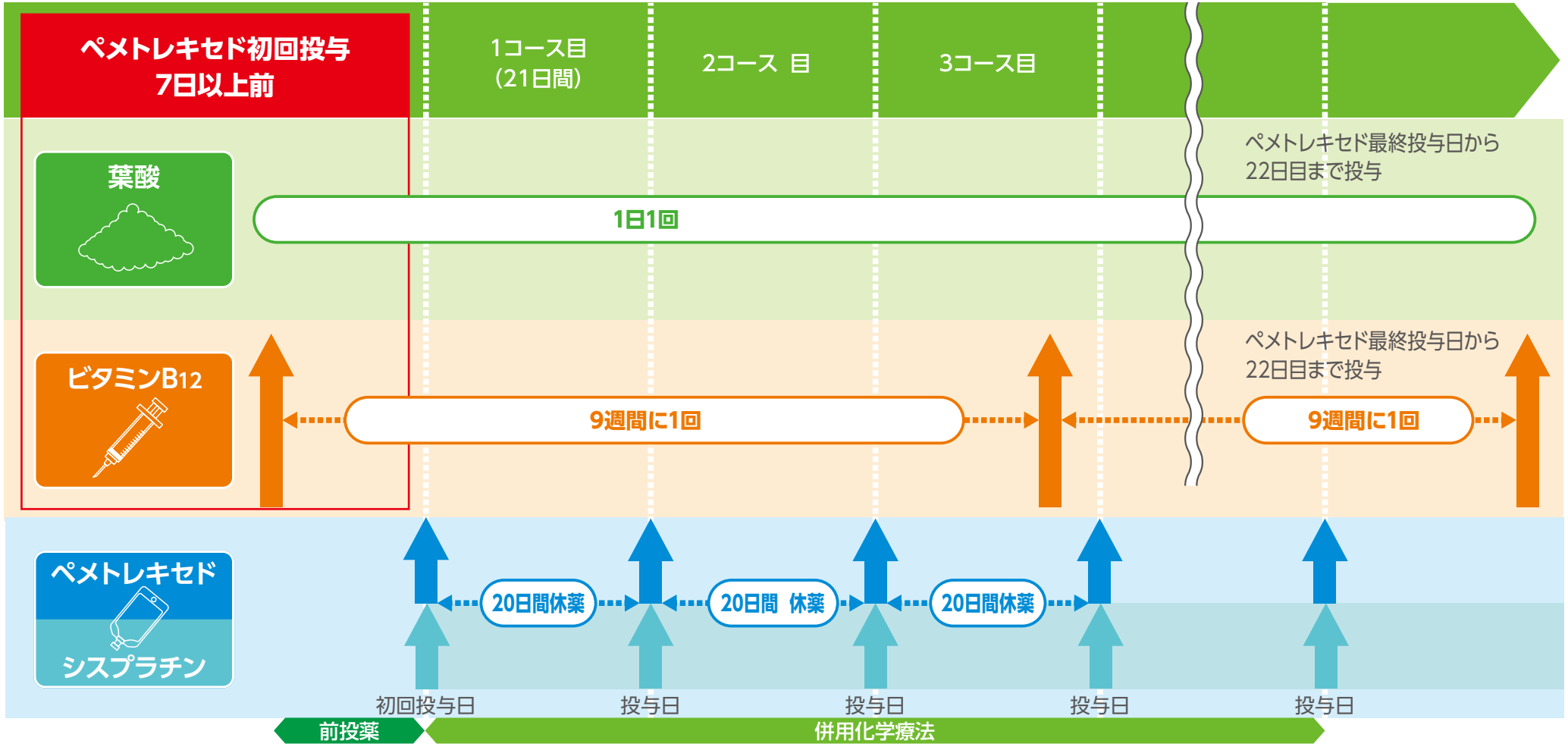
ペメトレキセドの最初の点滴日の7日以上前にビタミンB12を筋肉内注射し、その後は9週間に1回注射します。
ペメトレキセドの治療を終了した場合は、最後の点滴日から22日目までは9週間に1回注射のスケジュールを継続します。



十分なデータはありませんが、葉酸やビタミンB12を過剰に摂取すると治療に影響する可能性もあります。
ペメトレキセドの治療中には自己判断で葉酸やビタミンB12を多く含むサプリメントの服用はできるだけ控えてください。

治療全体のスケジュール

ペメトレキセド+シスプラチン併用療法の治療全体のスケジュールは下記の通りです。なお、治療状況等によってはスケジュールが変更になる場合があります。



●シスプラチンの副作用「腎障害」を予防するために、薬の投与前後に点滴で水分補給（補液）をおこないます。

●自己判断でサプリメントなどを用いて葉酸やビタミンB_{12}を摂取しないようにしてください。治療に影響する可能性があります。

ペメトレキセドの治療を受ける前のチェック事項

ペメトレキセドの治療を受ける前に、下記の項目を確認してください。該当する項目がある場合は、治療を受ける前に必ず医療スタッフに伝えてください。

	体調・条件	チェック
1	これまでに薬の服用や注射で発疹や過敏症がでたことがある	
2	血液検査で、赤血球、白血球、血小板のいずれかの数値が低いと指摘されている	
3	肺の病気（間質性肺炎、肺線維症）がある、または過去にあった	
4	胸やお腹に水が溜まっていると言われている	
5	腎臓に異常がある	
6	肝臓に異常がある	
7	妊娠している、妊娠している可能性がある	
8	授乳中	

下記についても該当する場合は、医療スタッフに伝えてください。

1	ほかにお薬（ドラッグストアや薬局で購入したお薬を含む）を服用している	
2	サプリメントや健康食品を服用している	

点滴中の注意事項

ペメトレキセドの点滴を安全に行うために、点滴中は体を大きく動かさず安静にし、下記の事に注意してください。

下記のような症状がみられましたら、**すぐに医療スタッフを呼んでください。**

- ☐ 皮膚のかゆみ
- ☐ のどのかゆみ
- ☐ 蕁麻疹
- ☐ 息苦しさ
- ☐ 声のかすれ
- ☐ 動悸
- ☐ くしゃみ
- ☐ 意識の混濁

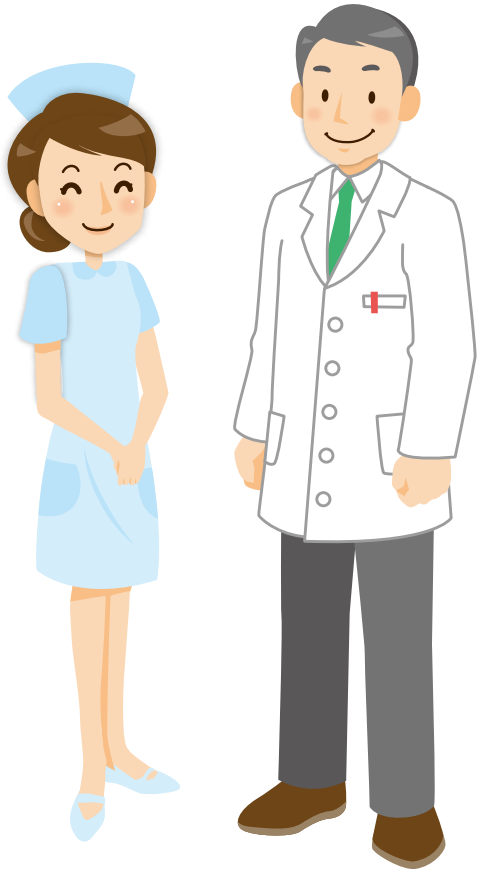
点滴の針を刺している部位とその周辺に下記のような症状がみられましたら、**すぐに医療スタッフを呼んでください。**

- ☐ 痛み
- ☐ 皮膚が赤い
- ☐ 腫れ
- ☐ 違和感

吐き気を感じましたら、我慢せずに医療スタッフを呼んでください。

副作用について

抗がん剤は、がん細胞だけでなく、正常な細胞にも影響してしまうため、何らかの副作用があらわれることがあります。どのような副作用がいつ頃起こりやすいかは、ある程度分かっています。
事前に起こりやすい副作用を確認し、適切な対策を行うことで、症状を和らげ、より良い治療を続けることができます。
次のページからは、主な副作用とその対策、医療スタッフに連絡するタイミングを記載していますので、確認してください。



ペメトレキセドで特に注意が必要な副作用

下記の副作用が疑われる症状がみられましたら、速やかに医療機関に連絡してください。

副作用名	主な症状
骨髄抑制	からだがだるい、発熱、鼻血、歯ぐきの出血、息切れ、あおあざができる、出血が止まりにくい、出血しやすい
感染症	かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐（おうと）
間質性肺炎	から咳、息苦しい、息切れ、発熱
ショック アナフィラキシー	呼吸困難、喘鳴、血圧低下、発疹、発赤、かゆみ
重度の下痢	何度も水のような便が出る、下腹部の痛み、体がだるい、発熱
脱水	のどが渇く、強い倦怠感、脱力感、尿の量が減る、皮膚の乾燥、脈が速くなる、血圧低下
腎不全	のどが渇く、尿の量が減る、体や足がむくむ、目のはれ、だるい、疲れやすい
中毒性表皮壊死融解症（TEN） 皮膚粘膜眼症候群 （Stevens-johnson症候群）	からだがだるい、食欲不振、発熱、高熱、中央にむくみを伴った赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、陰部の痛み

副作用について

ペメトレキセド、シスプラチン　吐き気/嘔吐/食欲不振

起こりやすさ・時期

点滴当日～数日間に、多くの方に起こります。

症　状

・吐き気がする
・嘔吐する
・食欲がない

◆食べられる時に少量ずつ食べましょう。
◆消化の悪いものは避けましょう。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●食事や水分をほとんど摂ることができない。

ペメトレキセド、シスプラチン　口内炎

起こりやすさ・時期

点滴後数日～数週間に、時々起こることがあります。

症　状

口の中が
・腫れる
・ただれる
・痛む

◆口の中を清潔に保ち、うるおった状態を保ちましょう。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●強い痛みがある。
●痛みで食事や水分摂取することが難しい。

ペメトレキセド、シスプラチン　下痢

起こりやすさ・時期

点滴後数日～数週間に、時々起こることがあります。

症　状

・軟便・水様便になる
・排便の回数が増える
・腹痛

◆腹部を温めて安静にしましょう。
◆消化の良いものを食べましょう。
◆脱水症状にならないように、こまめに水分を摂りましょう。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●治療前に比べて1日7回以上、排便が増えている。

ペメトレキセド、シスプラチン　疲労感

起こりやすさ・時期

点滴後数日間に、比較的起こります。

症　状

・常に疲れる
・だるい
・体が重い
・何もする気が起きない

◆睡眠や休息を十分にとりましょう。
◆できる範囲で、軽く体を動かしましょう。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●休息しても改善せず、身の回りのこと（食事、着替え、トイレ、入浴など）を行うのもつらい。

副作用について

ペメトレキセド、シスプラチン　感染症（好中球減少）

起こりやすさ・時期

点滴後数日～数週間に、ごくまれに起こることがあります。

症　状

・発熱
・寒気
・咳
・のどの腫れ・痛み

◆手洗い・うがい・マスクなどの風邪対策をしましょう。

！次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●37.5℃を超える発熱がある。

ペメトレキセド、シスプラチン　貧血（赤血球減少）

起こりやすさ・時期

点滴後数週間～数カ月に、時々起こることがあります。

症　状

・白目、唇が青くなる
・めまい
・動悸
・息切れ

◆睡眠や休息を十分にとりましょう。

！次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●動悸、息切れ、頭痛、めまい、耳鳴りなどの症状がある。

ペメトレキセド　呼吸困難（間質性肺炎）

起こりやすさ・時期

治療中いつでも、ごくまれに起こることがあります。

症　状

・息切れ
・痰の出ない咳

！次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●軽い動作でも息切れがする
●痰の出ない咳が出る

ペメトレキセド　発疹

起こりやすさ・時期

点滴後数日～数週間に、時々起こることがあります。

症　状

・主に体幹部に発疹
・色素沈着

◆症状がある場合は、医療スタッフに相談してください。

◆症状によっては副腎皮質ホルモン剤（ステロイド剤）を用いて治療します。

！次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●お薬を使用しても改善する傾向がみられない。

副作用について

ペメトレキセド、シスプラチン　脱毛

起こりやすさ・時期

点滴後数週間に、時々起こることがあります。

症　状

・髪の毛が抜ける
・体毛が抜ける

◆治療開始前に髪の毛を短くしておくと、脱毛時の手入れがしやすいです。
◆毛髪や頭皮に負担をかけないようにしましょう。
・毛先の柔らかいヘアブラシを使用する。・ドライヤーの温度を低めにする。
・パーマ、毛染めは避ける。・シャンプーは手に取り、泡立ててから優しく洗髪する。

シスプラチン　腎障害

起こりやすさ・時期

治療中いつでも、ごくまれに起こることがあります。

症　状

・尿が少ない、ほとんど出ない
・一時的に尿量が多くなる
・発疹　・むくみ　・だるさ

◆医療スタッフから指示された量の水分を摂取してください。

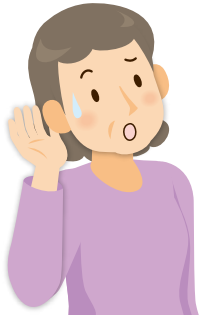
次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●尿が少ない、ほとんど出ないなど上記の症状がある。

シスプラチン　聴覚障害

起こりやすさ・時期

治療中いつでも、ごくまれに起こることがあります。



症　状

・聞こえにくい（特に高音域）
・耳鳴り
・耳に何か詰まった感じがする

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●聞こえにくいなど上記の症状がある。

シスプラチン　手足のしびれ・痛み（末梢神経障害）

起こりやすさ・時期

点滴後数日間に、ごくまれに起こることがあります。

症　状

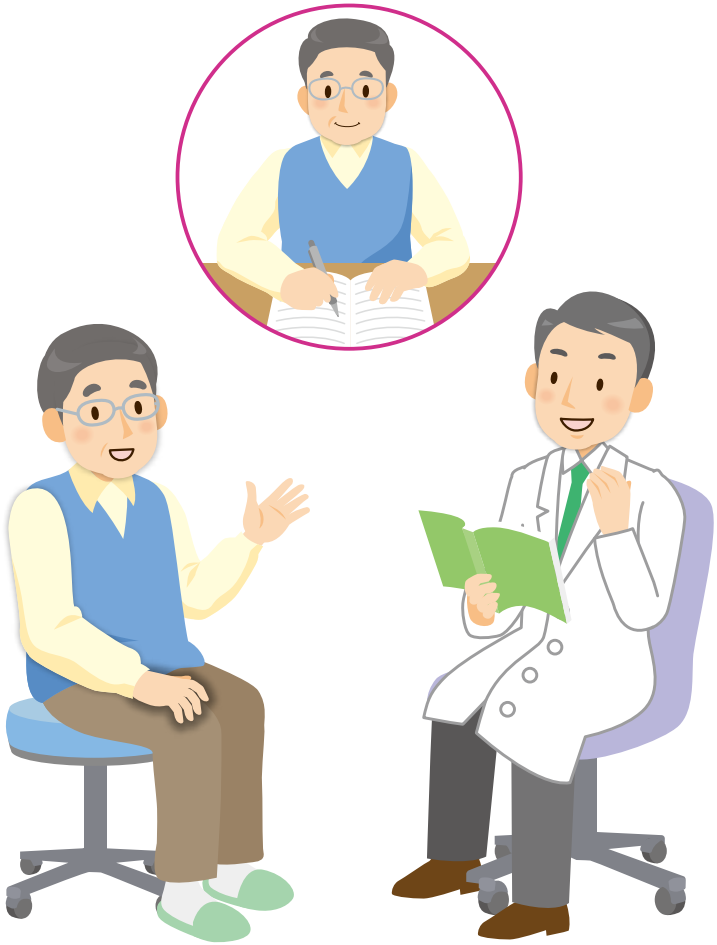
・手足のしびれ
・手足に刺すような痛み
・手足の感覚がおかしい

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●手足のしびれなど上記の症状がある。

治療日誌

患者さんの体調や治療の情報を、治療に関わる医療施設や調剤薬局などが共有して適切な対応を行うことが、より良い治療を進める上で大切です。この治療日誌では、患者さんの体調やお薬の服薬状況などを記入することができます。受診時やお薬を受け取るときに、この冊子を見せるようにしましょう。



記入例

1コース目のみ、治療開始前の葉酸の服用、ビタミンB12の注射を確認して、チェックしてください。

投与した日に✔をつけてください。

症状がある場合は✔をつけてください。

食事の量と便の状態は下記を目安に記入してください。

食事の量
◎：全部食べられた
○：半分以上
△：半分以下
×：食べられなかった

便の状態
○：普通
△：硬い
×：やわらかい
××：下痢

気になることなどをご自由に記入してください。

		治療開始前	10/30	10/31	11/1	11/2
お薬	葉酸	✔※3	✔	✔	✔	✔
	ビタミンB12	✔※4				
	ペメトレキセド		✔			
	シスプラチン					
	その他					
	その他					
体温			36.2℃	36.3℃	36.3℃	36.1℃
消化器症状	食事の量 ※1		◎	◎	◎	◎
	口内炎					
	吐き気・嘔吐			✔		
	排便回数		1	1	1	2
	便の状態 ※2		○	○	○	○
疲労感						
発疹						
脱毛						
咳・息苦しさ						
尿量の減少・むくみ						
聞こえが悪い・耳鳴り						
手足のしびれ・痛み						
その他						
メモ（気になること、医師に伝えたいことなど）						

			コース目																						
日付		治療開始前	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
お薬	葉酸	□※3	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
お薬	ビタミンB12	□※4	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
お薬	ペメトレキセド		□																						
お薬	シスプラチン		□																						
お薬 その他																									
お薬 その他																									
体温			℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
消化器症状	食事の量※1																								
消化器症状	口内炎																								
消化器症状	吐き気・嘔吐																								
消化器症状	排便回数																								
消化器症状	便の状態※2																								
疲労感																									
発疹																									
脱毛																									
咳・息苦しさ																									
尿量の減少・むくみ																									
聞こえが悪い・耳鳴り																									
手足のしびれ・痛み																									
その他																									
その他																									
メモ（気になること、医師に伝えたいことなど）																									

※1 食事の量：◎全部食べられた、○半分以上、△半分以下、×食べられなかった
※2 便の状態：○普通、△硬い、×やわらかい、××下痢
※3 治療開始前の葉酸：ペメトレキセドの最初の点滴日の7日以上前から1日1回毎日服用する。
※4 治療開始前のビタミンB12：ペメトレキセドの最初の点滴日の7日以上前に筋肉内注射する。

		コース目																								
日付		／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
お薬	葉酸	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ビタミンB_{12}	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ペメトレキセド	□																								
	シスプラチン	□																								
その他																										
体温		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
消化器症状	食事の量 ※1																									
	口内炎																									
	吐き気・嘔吐																									
	排便回数																									
	便の状態 ※2																									
疲労感																										
発疹																										
脱毛																										
咳・息苦しさ																										
尿量の減少・むくみ																										
聞こえが悪い・耳鳴り																										
手足のしびれ・痛み																										
その他																										
メモ（気になること、医師に伝えたいことなど）																										

※1 食事の量：◎全部食べられた、○半分以上、△半分以下、×食べられなかった
※2 便の状態：○普通、△硬い、×やわらかい、××下痢

		コース目																								
日付		／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
お薬	葉酸	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ビタミンB_{12}	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ペメトレキセド	□																								
	シスプラチン	□																								
その他																										
体温		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
消化器症状	食事の量 ※1																									
	口内炎																									
	吐き気・嘔吐																									
	排便回数																									
	便の状態 ※2																									
疲労感																										
発疹																										
脱毛																										
咳・息苦しさ																										
尿量の減少・むくみ																										
聞こえが悪い・耳鳴り																										
手足のしびれ・痛み																										
その他																										
メモ（気になること、医師に伝えたいことなど）																										

※1 食事の量：◎全部食べられた、○半分以上、△半分以下、×食べられなかった
※2 便の状態：○普通、△硬い、×やわらかい、××下痢

		コース目																								
日付		／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
お薬	葉酸	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ビタミンB_{12}	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ペメトレキセド	□																								
	シスプラチン	□																								
その他																										
体温		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
消化器症状	食事の量 ※1																									
	口内炎																									
	吐き気・嘔吐																									
	排便回数																									
	便の状態 ※2																									
疲労感																										
発疹																										
脱毛																										
咳・息苦しさ																										
尿量の減少・むくみ																										
聞こえが悪い・耳鳴り																										
手足のしびれ・痛み																										
その他																										
メモ（気になること、医師に伝えたいことなど）																										

※1 食事の量：◎全部食べられた、○半分以上、△半分以下、×食べられなかった
※2 便の状態：○普通、△硬い、×やわらかい、××下痢

		コース目																								
日付		／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
お薬	葉酸	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ビタミンB_{12}	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ペメトレキセド	□																								
	シスプラチン	□																								
その他																										
体温		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
消化器症状	食事の量 ※1																									
	口内炎																									
	吐き気・嘔吐																									
	排便回数																									
	便の状態 ※2																									
疲労感																										
発疹																										
脱毛																										
咳・息苦しさ																										
尿量の減少・むくみ																										
聞こえが悪い・耳鳴り																										
手足のしびれ・痛み																										
その他																										
メモ（気になること、医師に伝えたいことなど）																										

※1 食事の量：◎全部食べられた、○半分以上、△半分以下、×食べられなかった
※2 便の状態：○普通、△硬い、×やわらかい、××下痢

		コース目																								
日付		／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
お薬	葉酸	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ビタミンB_{12}	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	ペメトレキセド	□																								
	シスプラチン	□																								
その他																										
体温		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
消化器症状	食事の量 ※1																									
	口内炎																									
	吐き気・嘔吐																									
	排便回数																									
	便の状態 ※2																									
疲労感																										
発疹																										
脱毛																										
咳・息苦しさ																										
尿量の減少・むくみ																										
聞こえが悪い・耳鳴り																										
手足のしびれ・痛み																										
その他																										
メモ（気になること、医師に伝えたいことなど）																										

※1 食事の量：◎全部食べられた、○半分以上、△半分以下、×食べられなかった
※2 便の状態：○普通、△硬い、×やわらかい、××下痢

memo

緊急の連絡先

病院・医院名

電話番号

担当医師名　　科

お問い合わせ窓口

memo

発　行：2021 年
監　修：兵庫医科大学 呼吸器外科学
主任教授 / 中皮腫センター長
長谷川 誠紀 先生

兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学
主任教授 / がんセンター長
木島 貴志 先生

提　供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写（コピーなど）、転載することは法律で認められた場合を除き禁じられています。

F-32
2021年6月作成
DC-001164